

■著者紹介

宗田貴行 (そうだ・たかゆき)

獨協大学法学部教授・法学博士

慶應義塾大学法学部卒業 (1996年), 慶應義塾大学大学院法学研究科単位取得退学 (2003年3月), 奈良産業大学法学部専任講師・助教授, 獨協大学法学部准教授を経て, 2020年4月1日より現職

経済法, 消費者法, 民事訴訟法専攻



著者近影

ドイツ・ザールラント大学留学 (1999-2000年) (DAAD 奨学金)

公正取引委員会「団体訴訟制度に関する研究会」会員 (2005年)

経済産業省「迷惑メール規制に関する技術的論点WG」会員 (2007年)

日本民事訴訟法学会理事 (2013-2015年)

ドイツ・マックスプランク研究所 (外国私法・国際私法) 客員研究員 (2018-2019年)

〔主要著作〕

『団体訴訟の新展開』慶應義塾大学出版会 (2006年)

『迷惑メール規制法概説』レクシスネクシス・ジャパン (2006年)

『独禁法民事訴訟』レクシスネクシス・ジャパン (2008年)

『消費者法の新展開』慶應義塾大学出版会 (2009年)

『消費者団体訴訟の理論』信山社 (2021年)

『行政処分による消費者被害回復の理論——EUデジタルプラットフォーム規制の考察
と我が国の課題』法律文化社 (2023年)

〔受賞歴〕

電気通信普及財団第21回テレコム社会科学賞奨励賞 (2005年)

公益財団法人公正取引協会第35回横田正俊記念賞 (2020年)